

1. 略歴

1978年3月	東京大学法学部第一類（私法コース）卒業
1986年8月	連合王国ブリストル大学古典学・考古学科留学（1988年7月まで）
1992年2月	Ph.D.学位取得（連合王国ブリストル大学）
1978年4月	東京大学法学部助手
1982年4月	新潟大学教養部講師
1986年4月	新潟大学法学部助教授
1992年4月	新潟大学法学部教授
1993年11月	オックスフォード大学クライスト・チャーチ客員研究員（1995年1月まで）
1995年4月	新潟大学大学院現代社会文化研究科担当（「古典社会文化論」担当）
1999年9月	オックスフォード大学ベイリオル・コレッジ客員フェロー（2000年9月まで）
2002年4月	新潟大学法学部法政コミュニケーション学科長（2003(平成15)年3月まで）
2004年4月	新潟大学大学院実務法学研究科教授
2006年4月	大妻女子大学文学部コミュニケーション文化学科教授
2011年4月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

西洋古典学 ギリシア・ローマ法

b 研究課題

- 1 古代ギリシア人の「対立状況における行動様式」の特徴を、**compliance** と **defiance** という概念枠組を用いて、経済、法、宗教、哲学等の諸側面から総合的に考察する。そして、それらを、**The Greeks on Compromise** というタイトルで一冊にまとめたいたいと考えている。
- 2 古代ギリシア法をローマ法およびそのほかの西洋法の中に、総合的に位置づける。具体的には、古代ギリシア法入門のような形でまとめたいたいと思っている。
- 3 西洋学問の近世・近代の日本への移入を「文化転移」として、「普及」と「翻訳」という視点から総体的に把握する。

c 概要と自己評価

上記の研究課題に関して今期は以下のような具体的な研究作業を実施した。

- 1 課題1に関して、特に宗教と法の側面から、全般的な話を公開講演で行うとともに、学会で研究発表を行った。
- 2 課題2に関しては、デモステネスの私訴弁論の翻訳解説（36-38）を継続して行い、2017年度末現在、校正段階まで来ている。また、科研費研究として「法学提要」の歴史的・総合的研究を開始し、その中にギリシア法を位置付ける可能性を探っている。
- 3 課題3に関して、2016、2017年度年度は「他分野交流演習」を大学院オムニバス授業として開始した。この授業は今後も継続する予定である。尚、このような問題関心と1のギリシア人の総合的把握の交錯する分野の基本文献として、フランソワ・アルトーグの『オデュッセウスの記憶』を共訳出版した。

d 主要業績

(1) 共訳

葛西康德・松本英実（共訳）フランソワ・アルトーグ『オデュッセウスの記憶』東海大学出版部、2017年3月刊

(2) 小論

葛西康德、「東京大学草創期の授業再現3」『他分野交流プロジェクト研究ニューズレター』77号

葛西康德、「東京大学草創期の授業再現4」『他分野交流プロジェクト研究ニューズレター』78号

(3) 学会発表

日本宗教学会学術大会パネル報告、「ローマ帝国における諸民族と宗教」報告テーマ「ローマ法と宗教」2016年9月11日

(4) 研究会報告

“Surety and Security”, Rushmore Room, St. Catharine’s College, Cambridge, UK, 30th August 2016 (Tue)

(国際) 4th Tokyo-Cambridge Research Seminar on Law and Humanities, and 4th Tokyo Edinburgh Humanities and Law Seminar,
5 (MON) September 2016, Old Medical School, University of Edinburgh,

(5) 総説・総合報告

第123回平成28年度春季東京大学公開講座「無駄」、5月28日、「無駄とはなにか」12時50分～17時10分、葛西康徳「古代ギリシアにおける三つの無駄?」14時10分～15時、於安田講堂

(6) 共同研究・受託研究

科学研究費基盤研究 (A) (一般) (H29～H32)

「イスラエル国がラリア地方の新出土シナゴグ史料に基づく一神教の宗教史再構築」

(分担) (研究代表者: 市川裕)

科学研究費基盤研究 (B) (一般) (H29～H32)

「法学提要 (Institutiones) の比較法学的総合研究」

(代表者: 葛西康徳)

科学研究費基盤研究 (B) (一般) (H29～H32)

「民主制アテナイの演説文化: 法廷における実践的修辞戦略に関する総合的研究」

(分担) (研究代表者: 佐藤昇)

科学研究費基盤研究 (C) (一般) (H26～H28)

「混合法における信託の比較法史的的研究」

(分担) (研究代表者: 松本英実)

科学研究費基盤研究 (C) (一般) (H29～H31)

「ミクスト・リーガル・システムにおける慣習法の位置」

(分担) (研究代表者: 松本英実)

科学研究費基盤研究 (C) (一般) (H29～H31)

「日本におけるギリシア演劇の受容と世界的発信に関する実証的総合研究」

(分担) (研究代表者: 野津寛)

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

2016年度

大妻女子大学「法律と現代社会」非常勤講師 (2単位)

津田塾大学「ラテン語」非常勤講師 (4単位)

千葉大学法科大学院「法制史」非常勤講師 (2単位)

2017年度

大妻女子大学「法律と現代社会」非常勤講師 (2単位)

青山学院大学法学部「基礎法特論 A/B (ローマ法)」(4単位)

(2) 学会

「日本西洋古典学会(委員)」 「日本法制史学会」 「日本宗教学会」 「19世紀学学会」

「法とコンピュータ学会(理事)」

The Hellenic Society, The Selden Society, World Society of Mixed Jurisdiction Jurists

International Academy of Comparative Law (Associate member)

(3) 行政

北陸信越地方交通審議会船員部会公益委員 (2016年度)

(4) 学外組織 (学協会、省庁を除く) 委員・役員

日本学術会議連携会員

新潟大学超域学術院運営委員会委員